

子どもと大人の学びを編む： プロジェクトのなかのドキュメンテーション

2022年11月23日 (水・祝) 10:00-12:30 (開場 9:30)

オンライン開催

同時通訳あり 参加費無料 事前申込制 (先着1000名)

「教育ドキュメンテーションは、教育や学校のプロジェクトのための文化と解釈の基盤であり、理論的かつ実践的なツールである・・・ドキュメンテーションの複雑な語りを通して、教育と文化における価値、コンピテンシーの認識、専門的発達のプロセスが一緒になり再構成される。子どもと大人の知識と文化の豊かな織物に編み上げられる (『驚くべき学びの世界』より)。

レッジョ・エミリア市の幼児教育において発展してきたドキュメンテーションは、子どもと大人の学びのプロジェクトのためのツールです。このシンポジウムでは、プロジェクトのなかで、どのようにドキュメンテーションを通して子どもと大人の学びを編んでいくのか、マリーナ・カスタネッティさんの経験をお話し頂き、理解を深めたいと思います。

司会 野澤祥子 (東京大学 CEDEP 准教授)

開会挨拶 松本 理寿輝 (JIREA代表)

企画趣旨 浅井 幸子 (東京大学 教授/CEDEP 副センター長)

講演 マリーナ・カスタネッティ (レッジョ・エミリア市幼児学校・乳児保育所施設ペダゴジスタ、
レッジョ・エミリア・コラボレーター (レッジョ・チルドレン))

プロジェクトのなかのドキュメンテーション (仮)

対談 マリーナ・カスタネッティ

秋田 喜代美 (学習院大学教授・東京大学名誉教授)

浅井 幸子



マリーナ・カスタネッティ Marina Castagnetti

レッジョ・エミリア市幼児学校・乳児保育所施設ペダゴジスタ、レッジョ・エミリア・コラボレーター (レッジョ・チルドレン)

1982年から1999年までディアーナ幼児学校の教員として勤務し、「子どもたちの100の言葉」展の多くのプロジェクトに携わった。2000年から2016年までドキュメンテーションセンターに勤め、現在はレッジョ・チルドレンの国際部門で働いている。

申し込み方法：発達保育実践政策学センターのウェブサイトから
お申し込みください。



<https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/symposium/20221123symposium/>

共催 JIREA

18KK0059 子どもの育ちと学びの記録による保育評価とその国際的ネットワークの展開